

● 令和2年（2020年）の世界の主な火山活動

令和2年（2020年）に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

タール（Taal） フィリピン 標高311m

1月12日から13日にかけて顕著な噴火が発生し、噴煙は一時海拔10～15kmまで達した。この噴火に伴う降灰により、政府機関が閉鎖されたほか、周辺地域の多くの住民が避難した。

その後、噴火活動は徐々に低下したものの、噴煙活動など活発な状態が継続した。



図 令和2年（2020年）に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。